

各種警報発表時の対応について(お願い)

「海陽町」に表中の警報が発表, または, その後解除された場合, 次のように対応していただきたく思いますので, ご協力くださいますようお願いいたします。

	警報の種類, 発表・解除の時刻等	生徒の対応等
登 校 前	<p>(1) 午前7時の時点で ①暴風警報, 大雨警報, 洪水警報のいずれかが発表されている場合</p> <p>②緊急地震速報(震度5弱以上) 津波警報(高いところで3m以下) 津波注意報のいずれかが発表されている場合</p> <p>③大雨等の特別警報, 緊急地震速報(震度6弱以上), 大津波警報(高いところで3m以上)のいずれかが発表されている場合</p> <p>(2) 午前10時までに各警報が解除になった場合</p> <p>(3) 午前10時に警報が継続中の場合</p>	<p>自宅で待機する(原則として学校から連絡はしません)</p> <p>地域の避難場所に避難する。状況によっては, 自宅で待機する。</p> <p>地域の避難場所に避難して待機する。 大雨等の特別警報が発表されても, 自宅にいる方が安全な場合は自宅で待機する。</p> <p>原則として登校する(学校からの連絡を待って, 指定時刻までに登校する) 8:30 までに警報が解除になり登校する場合は, 給食があります。 8:30 ~ 10:00 に警報解除の場合は, 家庭で昼食をすませておいてください。 学校から登校の指示があっても, 危険が予想される場合は自宅で待機を続ける。</p> <p>臨時休業(学校からの時間割等の諸連絡を待つ)</p>
学 校 に い る と き	<p>(1) 暴風警報, 大雨警報, 洪水警報のいずれかが発表された場合</p> <p>(2) 大雨等の特別警報や津波警報, 津波注意報が発表された場合</p> <p>(3) 緊急地震速報(震度5弱以上), 大津波警報が発表された場合</p>	<p>原則として下校する。 状況により, 保護者の迎えを依頼する場合があります。学校にいる方が安全な場合は学校で待機させます。</p> <p>本校が避難場所に指定されているので, 学校で待機する。</p> <p>県民グラウンド駐車場(状況によりさらに奥の高い場所)に避難する。状況を見て, 校舎に戻り待機する。</p>
	<p>— 保護者への生徒の引き渡しについて —</p> <p>特別警報, 津波警報, 大津波警報のいずれかが発表されている場合, 保護者への生徒の引き渡しは原則行いません。迎えの保護者も一緒に避難していただきます。警報が解除されたら, 迎えの保護者に引き渡しをいたします。</p>	
登 下 校 中	<p>(1) 緊急地震速報, 津波注意報, 津波警報, 大津波警報のいずれかが発表された場合</p>	<p>落下物から身を守り, 最寄りの避難場所に避難して, 地域の防災本部等からの指示があるまで待機する。</p>

※ 津波注意報については, 状況により判断させていただきます。

※ 日曜日及び土曜日, 国民の祝日及び長期休業日の学校活動も上記に適用する。

(気象庁資料より)

数十年に一度の大雨などが予想された場合に**特別警報**が発表されます。

特別警報の発表基準

現象の種類	基準	
大雨	台風や集中豪雨により数十年に一度の降雨量となる大雨が予想される場合※	
暴風	数十年に一度の強度の台風や 同程度の温帯低気圧により	暴風が吹くと予想される場合
高潮		高潮になると予想される場合
波浪		高波になると予想される場合
暴風雪	数十年に一度の強度の台風と同程度の温帯低気圧により雪を伴う暴風が吹くと予想される場合	
大雪	数十年に一度の降雪量となる大雪が予想される場合	

(注) 発表にあたっては、降水量、積雪量、台風の中心気圧、最大風速などについて過去の災害事例に照らして算出した客観的な指標を設け、これらの実況および予想に基づいて判断をします。

次のような現象において、その予想規模が基準に示されたような強度の場合、**特別警報**に位置づけられます。

現象の種類	基準
津波	高いところで3 mを超える津波が予想される場合 (大津波警報を特別警報に位置づける)
火山噴火	居住地に重大な被害を及ぼす噴火が予想される場合 (噴火警報 (居住地) *を特別警報に位置づける)
地震 (地震動)	震度6弱以上の大きさの地震動が予想される場合 (緊急地震速報 (震度6弱以上) を特別警報に位置づける)

*噴火警戒レベルを運用している火山では「噴火警報 (居住地)」（噴火警戒レベル4または5）を、噴火警戒レベルを運用していない火山では「噴火警報 (居住地)」（キーワード：居住地嚴重警戒）を特別警報に位置づけています。

(海陽町教育委員会 : 地震・津波「心の構え」三原則)

大津波 必ず来るぞ 覚悟持て
わが命 自分で守る 自覚持て
何よりも まずは避難の 構え持て